

4年生・大学院生諸君！ 1次試験まであと30日です！

教育実習、お疲れさまです。今週で終わりという人もいますが、まだ実習中という人が多いでしょう。最後まで気を抜かず頑張ってください。できれば、指導教員の許可を得て、自分の指導の「よかった点」「今後の課題」「感想など」について、生徒にアンケートを取るといいでしょう。採用試験に向けて元気をもらえそうです。

さて、今回の「こがねい」は臨時号ということで、教育実習終了から1次試験当日までの勉強の仕方について特集しました。昨年11月から準備してきた勉強の成果が当日十分に発揮できるよう、試験直前の勉強の仕方には、くれぐれも気を付けてください。論文を書くことも含めて、練習や勉強をするのは6月末までです。7月1日から7月7日（前日）までは、今までに勉強してきたことを見直し、確認するときです。これを忘れて前日まで論文を書いたり、筆記試験の問題を解いていたりすると、当日実力が出せません。

また、教育実習後は、実習校に礼状を出すのが通例です。礼状の書き方や留意点についてもまとめました。どうしても不安な人は添削しますので持参するかメールしてください。

3年生・2年生・1年生諸君！

去る5月14日～25日に同じ内容で5回、「3・2・1年生向合格論文書き方講習」を実施しました。合計21人の参加者でしたが、既に3人が論文添削を受けています。昨年よりも半年早いスタートなので、間違いなく試験当日までには合格レベルに達するでしょう。教員採用試験は、先手必勝！長丁場ですが、じっくり頑張ろう！論文だけでなく、筆記試験（教職教養、専門教養、一般教養）の準備も併せて進めましょう

【実施した行事・実施する行事】

- 1 「論文個別添削」 実施中 ★随時受付 メールでも24時間受付 6/5現在 238枚
- 2 「3・2・1年生合格論文書き方講習」 実施済 同じ内容で5回実施 参加者21人
- 3 「個人面接練習」 日程割振確定 ★1回20分間 一人2回
7月2日（月）、3日（火）、6日（金）、9日（月）、10日（火）、13日（金）、16日（月）、17日（火）、20日（金）[会場：談話室] 時程 ①9:50～11:30 ②13:20～15:00 ③15:10～16:50
- 4 「集団討論・模擬授業後討論練習」 日程割振確定 ★一人2回
7月23日（月）[会場：Wゼミ室1]、24日（火）[会場：W205]、27日（金）[会場：W205]
時程 ①9:50～11:30 ②13:20～15:00 ③15:10～16:50
- 5 「2次試験対策模擬面接」 日程割振確定 ★1回25分間又は30分間、一人1回。[会場：談話室]
面接官は外部講師2人 受験者はスーツ着用 15分前に相談室集合 7月30日（月）、31日（火）
時程 ①9:30～11:10 ②11:20～13:00 ③14:00～15:40 ④15:50～17:30
- 6 「学校見学会及び研究協議（直前面接練習）」 初実施予定
8月14日（火）12:30～17:00 [会場：都立広尾高校]（12:10 JR恵比寿駅西口改札集合）
- 7 「3・2・1年生向 夏季集中教育法規講習」 実施予定 全4回（全回参加が望ましい）締切6/30
8月27日（月）時程 ①13:20～15:00 ②15:10～16:50 [会場：W205]
8月28日（火）時程 ③13:20～15:00 ④15:10～16:50 [会場：W205]
- 8 「3・2・1年生向 夏季集中学習指導要領講習」 実施予定 全2回（全回参加が望ましい）
8月31日（金）時程 ①13:20～15:00 ②15:10～16:50 [会場：W205] 締切6/30



【教育実習後から1次試験日までの過ごし方】

★ この時期は、直前の極めて大切な時期です。勉強の成果を十分に発揮できるよう、下記を参考にしてください。

《教育実習を終えてからの1週間》

一日も早く教育実習の疲れをとることが大切ですが、この期間に必ずしなければならないことは、実習校へのお礼状の送付です。持参がベストですが、教員採用試験直前のこの時期は時間ももたないないので、郵送でも仕方ありません。そこで、礼状を書く際の留意点を記しておきます。

【礼状を書くに当たって】

- 「校長」と「指導教員及びその他の教員」に対して別々に礼状を書くのが無難です。どうしても1枚で済ませたいときは、校長宛てとし、文末に「指導に当たっていただいた○○先生他関係の先生方にもよろしくお伝えくださいませ。」と書きます。くれぐれも校長に出さずに指導教員等だけに出すことは避けてください。たいていの学校では、実習生からの礼状は、付箋を付けて校長を始め全教員で回覧します。くれぐれも校長や先生方に失礼のないようにしてください。失礼な礼状を送ってしまうと、皆さん本人だけでなく、法政大学の教育に対する信頼も失ってしまいます。
- ワープロではなく、便せんに手書きで書いてください。これも相手に失礼にならないためです。
- 礼状の内容は、概ね次の通りです。書き出しは「拝啓」又は「前略」、末尾は「敬具」又は「草々」です。
 - ① 実習をさせていただいたことに対する感謝の気持ち。
 - ② 生徒や先生方から学んだこと。(具体的な生徒の様子を書くともよいでしょう。)
 - ③ 学んだことを教員としてどのように生かすか。
 - ④ 教員としての決意。(教員採用試験に向けた意気込みなら更によいです。)



こんなところにも「論例策」の練習が役に立ちますね。論文の「まとめ」ほどきつい言い方(テアル体)でなくていいですが、しっかりと決意を示し、実習生として受け入れてよかったと思ってもらえることが大切です。

- できれば、1次試験が終わったところにアポを取って、手土産でも持って実習校に挨拶に行くといいでしょう。そのときは真っ先に校長室へ、次に職員室にいる副校長、そして指導教員等という順番を守ってください。
- 2次試験の結果も知らせるのが仁義というものです。先生方は、皆さんの合否を心配しているのです。

《1次試験1週間前から前々日までに行うこと》

論文を書くのも筆記試験の勉強をするのも6月30日までです。7月1日から7月7日(前日)までは、今までに行ってきたことを読み返し、確認するときです。これを忘れて前日まで論文を書いたり、筆記試験の問題を解いていたりすると当日実力が出せません。以下、7/1から7/7までに行うべきことを書きます。

〈論文〉

- 今までに添削された論文をNo.1から順に読み返します。どこを直されたのか、なぜ直されたのか、どう直されたのかなど、論文の余白や評価票に書いてある添削結果を見ながら復習していきます。この作業は、論文を書くことについて自分がどれだけ伸びたのかを自覚することにもなります。まさに、セルフ・エスティーム(自己肯定感)を高め、自信をもって試験に臨めるわけです。論文の練習回数が多い人は少ない人よりも圧倒的に有利ですが、少ないからと言ってあきらめる必要はありません。「合格論文書き方講習」でも話しましたが、「論例策」の書き方は、どんな問題が来ても対応できるのです。たとえ練習量は少なくても、練習した分を生かして論文試験と戦ってください。大丈夫です。きょうまくいきます。

〈教職教養・専門教養・一般教養〉

- これらも論文同様、**7月になったら新しい問題を解くことはしないようにします。**それよりも、今まで勉強したことが試験当日に十分発揮できることを目指し、しっかりと復習します。
- 教育法規講習や学習指導要領講習で学んだことも復習しておいてください。特に、小中高全て出揃った今年は、新学習指導要領がねらい目です。「主体的・対話的で深い学び(学習の質的改善)」「社会に関わられた教育課程(チーム学校)」「カリキュラム・マネジメント(PDCA)」「(教科を)学ぶことの意義」「学びの地図(3つ)」などの重要事項をしっかりと復習してください。

《1次試験前日にやっておくこと》

- 特にありません。よく眠ること。興奮して眠れなくても、目をつぶって静かにしているだけで疲れは取れます。念のため、生ものは避けた方がいいかもしれません。おなかが緩くなったら大変ですから。

《1次試験後に行うこと》3日以内に論文の復元答案をワープロで作成して、メールで提出してください。